



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月8日

上場会社名 三菱瓦斯化学株式会社
コード番号 4182 URL <https://www.mgc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 政志

問合せ先責任者 (役職名) IRグループマネージャー (氏名) たき澤 諭

TEL 03- 3283- 5041

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

2023年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	399,652	1.2	22,103	34.1	24,947	50.0	31,235	8.9
2023年3月期第2四半期	394,909	17.6	33,524	11.6	49,928	28.8	34,269	21.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 58,240百万円 (3.6%) 2023年3月期第2四半期 60,439百万円 (77.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	152.67	
2023年3月期第2四半期	166.33	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,163,009	727,423	56.0
2023年3月期	1,029,317	671,249	59.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 651,232百万円 2023年3月期 607,613百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		40.00		40.00	80.00
2024年3月期		40.00			
2024年3月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	840,000	7.5	46,000	6.2	49,000	29.8	47,000	4.2	232.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	222,239,199 株	2023年3月期	222,239,199 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	17,628,335 株	2023年3月期	17,660,740 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	204,591,758 株	2023年3月期2Q	206,031,885 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料は、TDnetで同日開示しています。また、2023年11月10日(金)に証券アナリスト・機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)における世界経済は、米欧を中心とした金融引き締め政策が継続し、中国経済の低迷も長期化するなど、その回復ペースは想定以上に遅く、経済活動の鈍化に伴って財需要が低迷するなど厳しい状況が続きました。またウクライナ危機の長期化に加え、足下では中東情勢の緊迫化など地政学的な緊張感も増しており、景気の先行きが見通しにくい情勢となっております。

このような状況下、当社グループは、2021年度よりスタートした中期経営計画「Grow UP 2023」の最終年度として、今年度も「環境変化に強い収益構造への転換」を図るべく、「競争優位(“差異化”)事業の更なる強化」「新規事業の創出と育成の加速」「不採算事業の見直し・再構築」等の施策による事業ポートフォリオ改革を推進しております。

当社グループの売上高は、メタノールやアンモニアの市況下落、芳香族化学品、電子材料の販売数量減少等が減収要因となりましたが、三菱エンジニアリングプラスチックス(株)が新たに連結対象となったことや、円安の影響が上回り、増収となりました。

営業利益は、円安などが増益要因となったものの、前年同期に好調であったポリアセタールの市況下落、芳香族化学品やメタノール・アンモニア系化学品、電子材料を中心とした全般的な販売数量減少等により減益となりました。

経常利益は、メタノール市況の下落等により海外メタノール生産会社における持分法利益が減少したことや、前年同期にベネズエラの海外メタノール生産会社において計上された繰延税金負債の取り崩しによる一過性の利益が剥落したこと、営業利益が減少したことなどから減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、三菱エンジニアリングプラスチックス(株)の連結化に伴う段階取得差益の計上等が増益要因となりましたが、経常利益が減少したことなどから減益となりました。

以上の結果、売上高3,996億円(前年同期比47億円増(1.2%増))、営業利益221億円(前年同期比114億円減(34.1%減))、持分法損失10億円(前年同期比116億円悪化)、経常利益249億円(前年同期比249億円減(50.0%減))、親会社株主に帰属する四半期純利益312億円(前年同期比30億円減(8.9%減))となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔基礎化学品〕

メタノールは、市況が前年同期に比べ下落したことなどから減収減益となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、MMA系製品の販売数量が減少したことや、アンモニア等市況の下落により減収減益となりました。

ハイパフォーマンスプロダクツは、米欧の景気減速に伴う需要低迷により、メタキシレンジアミンや芳香族アルデヒドの販売数量が減少したことなどから減収減益となりました。

キシレン分離/誘導品は、高純度イソフタル酸(PIA)の市況が下落したことなどから減収減益となりました。

発泡プラスチック事業は、製品価格改定等による売上の増加や、コスト削減などから増収増益となりました。

以上の結果、売上高2,056億円(前年同期比273億円減(11.7%減))、営業利益94億円(前年同期比49億円減(34.5%減))、経常利益74億円(前年同期比134億円減(64.3%減))となりました。

〔機能化学品〕

無機化学品は、半導体需要の低迷により、半導体向け薬液の販売数量が減少したことなどから減収となりましたが、原燃料価格や輸送費の上昇等の販売価格への転嫁などにより前年同期並みの損益となりました。

エンジニアリングプラスチックは、三菱エンジニアリングプラスチック(株)の連結化により増収となりましたが、ポリアセタールの市況が下落したことなどから減益となりました。

光学材料は、光学樹脂ポリマーの主用途であるスマートフォンにおいて、第2四半期から新機種の生産が立ち上がり需要は回復傾向にあるものの、前年同期の水準には及ばず、減収減益となりました。

電子材料は、主力の半導体パッケージ用BT材料において、スマートフォン向け材料などの需要が回復傾向にあるものの、前年同期の水準には及ばず、減収減益となりました。

「エージェレス®」等の脱酸素剤は、国内食品用途における巣ごもり需要の反動や、輸出販売の減少に加え、原材料価格の上昇等もあり、減収減益となりました。

以上の結果、売上高1,939億円(前年同期比320億円増(19.8%増))、営業利益142億円(前年同期比61億円減(30.3%減))、経常利益178億円(前年同期比74億円減(29.3%減))となりました。

〔その他の事業〕

その他の事業の売上高は0億円、営業損失は0億円、経常利益は0億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,336億円増加の11,630億円となりました。

流動資産は、817億円増加の5,650億円となりました。増加の要因は、商品及び製品の増加などです。

固定資産は、519億円増加の5,979億円となりました。増加の要因は、のれんの増加などです。

負債は、775億円増加の4,355億円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の増加などにより681億円増加しました。固定負債は、長期借入金の増加などにより93億円増加しました。

純資産は、561億円増加の7,274億円となりました。増加の要因は、利益剰余金の増加などです。

この結果、自己資本比率は56.0%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前年同期比で166億円増加し、1,083億円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間は、前年同期比で235億円収入が増加し、369億円の収入となりました。増加の要因は、売上債権の増加などです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間は、前年同期比で115億円支出が減少し、193億円の支出となりました。減少の要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入の増加などです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間は、前年同期比で217億円支出が増加し、167億円の支出となりました。増加の要因は、長期借入れによる収入の減少などです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年8月7日に公表いたしました業績予想から変更ありません。なお、業績予想の前提となる為替レートは、未経過月を1米ドル140円(前回予想より5円の円安)、1ユーロ150円(前回予想より5円の円安)としております。

また、当社は2023年10月31日付で「子会社の異動を伴う子会社株式に係る公開買付けへの応募及び資本業務提携の解消に関するお知らせ」を公表しておりますが、本公開買付けへの応募及び本資本業務提携解消が今期業績予想に与える影響は現在精査中であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	108,378	119,392
受取手形、売掛金及び契約資産	176,626	198,554
有価証券	93	88
商品及び製品	89,367	126,395
仕掛品	22,331	22,321
原材料及び貯蔵品	66,444	72,226
その他	20,775	26,799
貸倒引当金	△767	△742
流動資産合計	483,249	565,035
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	102,143	107,347
機械装置及び運搬具（純額）	87,890	96,970
その他（純額）	123,733	147,153
有形固定資産合計	313,767	351,471
無形固定資産		
のれん	4,425	20,366
その他	7,555	8,448
無形固定資産合計	11,980	28,815
投資その他の資産		
投資有価証券	200,101	196,024
その他	22,141	23,724
貸倒引当金	△1,922	△2,061
投資その他の資産合計	220,320	217,687
固定資産合計	546,068	597,973
資産合計	1,029,317	1,163,009

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,342	117,716
短期借入金	47,913	67,133
未払法人税等	5,274	6,439
引当金	6,714	7,286
その他	72,197	90,006
流動負債合計	220,442	288,582
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	74,680	77,700
引当金	3,383	3,011
退職給付に係る負債	4,453	5,844
資産除去債務	5,272	5,380
その他	29,835	35,066
固定負債合計	137,625	147,003
負債合計	358,068	435,586
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	34,293	35,521
利益剰余金	521,426	544,478
自己株式	△23,838	△23,795
株主資本合計	573,852	598,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,950	11,919
繰延ヘッジ損益	110	△10
為替換算調整勘定	22,894	39,758
退職給付に係る調整累計額	1,805	1,389
その他の包括利益累計額合計	33,760	53,057
非支配株主持分	63,636	76,190
純資産合計	671,249	727,423
負債純資産合計	1,029,317	1,163,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	394,909	399,652
売上原価	301,734	313,231
売上総利益	93,174	86,421
販売費及び一般管理費	59,649	64,317
営業利益	33,524	22,103
営業外収益		
受取利息	320	1,192
受取配当金	1,967	2,466
為替差益	4,927	2,520
持分法による投資利益	10,605	—
その他	1,411	1,263
営業外収益合計	19,231	7,443
営業外費用		
支払利息	752	1,519
出向者労務費差額負担	943	702
持分法による投資損失	—	1,016
その他	1,132	1,360
営業外費用合計	2,828	4,598
経常利益	49,928	24,947
特別利益		
段階取得に係る差益	—	15,085
投資有価証券売却益	390	2,830
補助金収入	—	377
事業構造改善引当金戻入額	—	105
子会社における送金詐欺回収益	110	—
特別利益合計	500	18,399
特別損失		
固定資産処分損	149	307
固定資産圧縮損	—	244
貸倒引当金繰入額	150	100
土地整備費用引当金繰入額	273	—
関係会社株式評価損	178	—
減損損失	108	—
特別損失合計	860	651
税金等調整前四半期純利益	49,568	42,694
法人税等	12,277	7,328
四半期純利益	37,291	35,366
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,021	4,131
親会社株主に帰属する四半期純利益	34,269	31,235

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	37,291	35,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,438	3,089
繰延ヘッジ損益	△62	△360
為替換算調整勘定	13,591	13,660
退職給付に係る調整額	△254	△280
持分法適用会社に対する持分相当額	11,313	6,765
その他の包括利益合計	23,148	22,873
四半期包括利益	60,439	58,240
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	54,032	50,518
非支配株主に係る四半期包括利益	6,406	7,722

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	49,568	42,694
減価償却費	16,127	18,373
固定資産処分損益(△は益)	370	830
のれん償却額	201	969
持分法による投資損益(△は益)	△10,605	1,016
貸倒引当金の増減額(△は減少)	222	△30
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△71	76
受取利息及び受取配当金	△2,287	△3,659
支払利息	752	1,519
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△402	△2,830
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	2	43
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△15,085
売上債権の増減額(△は増加)	△1,576	25,392
棚卸資産の増減額(△は増加)	△13,849	△4,823
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,970	△19,691
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,515	1,330
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△50	△106
その他	△14,455	△8,135
小計	15,459	37,884
利息及び配当金の受取額	2,479	3,641
持分法適用会社からの配当金の受取額	8,272	3,219
利息の支払額	△664	△1,505
法人税等の支払額	△12,197	△6,323
保険金の受取額	6	14
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,355	36,929

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△32,411	△37,614
固定資産の売却による収入	53	126
投資有価証券の取得による支出	△462	△128
投資有価証券の売却による収入	518	4,486
貸付けによる支出	△1,526	△1,675
貸付金の回収による収入	102	29
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	11,894
その他	2,908	3,569
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,817	△19,312
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,662	△15,180
長期借入れによる収入	29,360	6,390
長期借入金の返済による支出	△3,646	△6,027
自己株式の取得による支出	△7,081	△2
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△7,281	△8,183
非支配株主への配当金の支払額	△1,358	△3,464
その他	△354	9,702
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,974	△16,765
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,943	6,326
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,543	7,178
現金及び現金同等物の期首残高	92,257	101,185
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2,041	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	91,756	108,363

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第1四半期連結会計期間において三菱エンジニアリングプラスチックス(株)の株式を追加取得しています。この結果、三菱瓦斯化学工程塑料(上海)有限公司に対する当社持分が変動し、資本剰余金が1,202百万円増加しております。

(セグメント情報)

I. 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品 事業部門	機能化学品 事業部門	その他の事業 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	233,018	161,820	70	—	394,909
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,363	58	2	△3,423	—
計	236,381	161,878	73	△3,423	394,909
セグメント利益又は損失 (△) (経常利益又は経常損失 (△))	20,885	25,302	△5	3,746	49,928

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額3,746百万円は、セグメント間取引消去394百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等3,352百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「基礎化学品事業部門」において108百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品 事業部門	機能化学品 事業部門	その他の事業 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	205,673	193,914	64	—	399,652
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,745	273	5	△4,024	—
計	209,418	194,188	70	△4,024	399,652
セグメント利益又は損失 (△) (経常利益又は経常損失 (△))	7,466	17,890	66	△476	24,947

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△476百万円は、セグメント間取引消去△149百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△326百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「機能化学品事業部門」において、三菱エンジニアリングプラスチックス(株)の株式を追加取得し連結子会社化したことにより、16,835百万円のものれんが発生しております。

(重要な負のものれん発生益)

該当事項はありません。